



有馬の按法法
手あしりし

推馬のくは備説

平記一了集

野布大子人心を

素の起り片玉木

荒座元一十日志

の地母名を無後

即一安十回備

説を了あるあ

より井上の本を

も引あまけりた

市の経路にあり

市の経路に双方
と一期し難き程
有厚改めたり
と大に之を以て
勝利とす可き未
だ世よこ白法帝
ありし時氣あり
心信く存せり
り地國民もた
多少増多人の改
かして終るや
白太子の海下
は所りたるは
白虎とあり
は無河氏と云
た系流あり

心傳人存心
の地國長考
多少増多
かたがた

白子海下
行り
多岐

是無
大系

子
力

大限
日